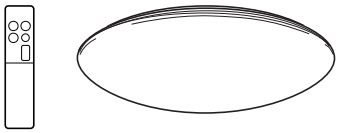
Panasonic®

取扱説明書

保管用
施工説明付き
保証書付き



住宅用照明器具（シーリングライト）

品番　LGC4113DK　LGC5113DK

お客様へ　このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
特に、ご使用前に「安全上のご注意」(1ページ)を必ずお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ　■この説明書は必ずお客様にお渡しください。■施工説明に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

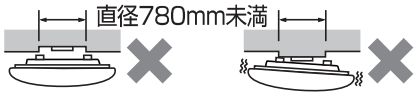
⚠警告

■取付面

禁止

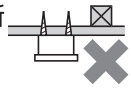
●次のような場所には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

・平面部が直径780mm未満の場所(例:右図)



・凹凸のある場所(例:右図)

・補強のない場所(ベニヤ板や石こうボードなど)



・傾斜した場所

◎この器具は水平天井面取り付け専用です。
◎竿縁天井用アダプタ(別売:品番HK9003)を使用した場合は、竿縁天井に取り付けできます。詳細は竿縁天井用アダプタの取扱説明書をご参照ください。
◎傾斜天井用アダプタ(別売:品番HK9039)を使用した場合は、55度までの傾斜天井に取り付けできます。詳細は傾斜天井用アダプタの取扱説明書をご参照ください。

■配線器具

禁止

●がたついたり、破損している配線器具(ローゼット・引掛シーリング)には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

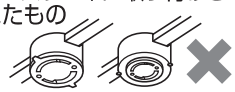
●適正な状態にない配線器具には無理に取り付けない
落下によるけがのおそれがあります。

内装材の重ね貼りなどにより出しろが小さくなったもの

斜めに取り付けられたもの

シーリングハンガーが取り付けられたもの

ケースウェイに取り付けられたもの

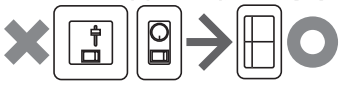


電源端子露出タイプ

■壁スイッチ

必ず守る

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する
火災のおそれがあります。



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
(取り外しには資格が必要です。)

■その他

分解禁止

●器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

■その他

必ず守る

●交流100ボルトで使用する　過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。
●異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
●アダプタは確実に取り付ける　落下してけがのおそれがあります。
●本体は確実に取り付ける　破損して感電のおそれがあります。
●本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付ける　破損して感電のおそれがあります。

⚠注意

必ず守る

●照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。
◎1年に1回は「安全チェックシート」に基づき、自主点検してください。
●付属の梱包材は取り除いて使用する
そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。
●カバーは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

接触禁止

●点灯中や消灯直後はLEDやその周辺にさわらない
やけどの原因となることがあります。
◎お手入れは電源を切り、LEDやその周辺が冷めてから行ってください。

水ぬれ禁止

●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない
火災、感電の原因となることがあります。
◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

禁止

●温度の高くなるものを器具の真下に置かない
火災の原因となることがあります。
◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。
●カバーを外した状態で点灯したLEDを長時間直視しない
目の痛みの原因となることがあります。

ご使用上に関するお知らせ　故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】
- ●必ず壁スイッチを設けてください。
  - ·点灯に異常が発生したとき、リセット操作に壁スイッチが必要です。
  - ·長期使用しないときや、お手入れの際に電源を切ることができます。
  - ·リモコン送信器の電池が消耗した場合やリモコン送信器を紛失した場合に点灯消灯ができます。
- ●点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- ●天井の材質や構造によっては、天井面が変色することがあります。
- ●停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
- ●壁スイッチがONの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
- ●LED、常夜灯にはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- ●LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。

【周囲の影響】
- ●器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- ●3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
- ●他の機器（例えば、スマートフォン·タブレット、3Dテレビなど）からでる赤外線の影響により、リモコンが反応しにくい場合があります。
- ●点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。

各部のなまえと付属部品　施工する前にまず付属部品をご確認ください

照明器具

施工前に必ず器具を底板（包装材）から取り外してください。

本体取り付け用付属部品

引掛シーリング用木ネジ（2本）

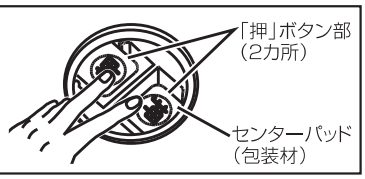
配線器具 丸型フル引掛シーリング（1個）

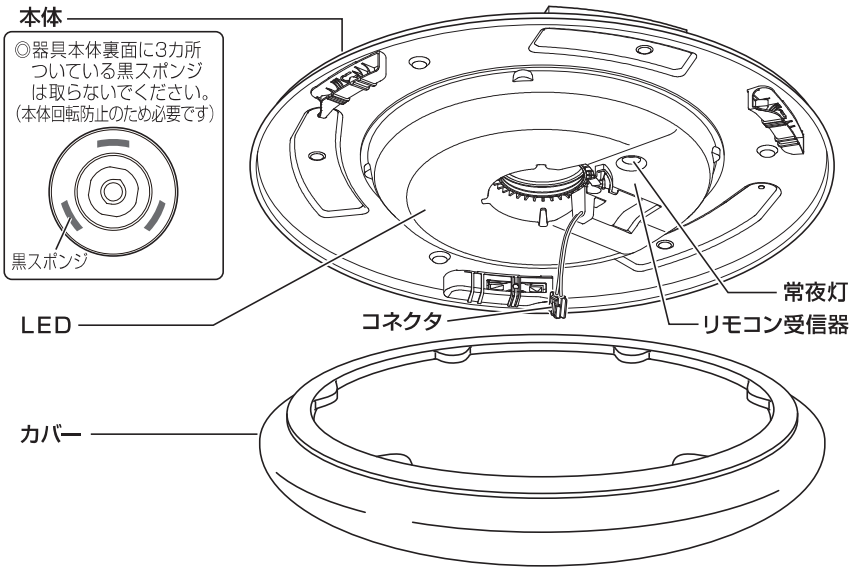
アダプタ（1個）
補修品番NZ2717M

器具を底板から取り外す方法

①器具のカバーを外す
3ページ「カバーの外しかた」参照

②器具中心部のセンターパッド（包装材）の「押」ボタン部（2カ所）を押しながら本体を持ち上げる





リモコン付属部品

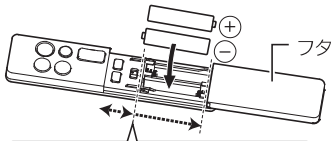
リモコン（1個）
補修品番
HK9812MM
操作方法は、4~6ページ参照

単4形マンガン乾電池（2本）

リモコンボックス（1個）

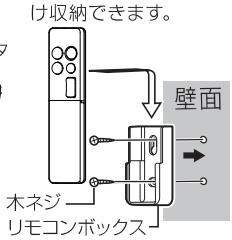
リモコンボックス用木ネジ（2本）

●リモコンのフタを開けて、単4形マンガン乾電池を2本入れる。



フタは、2度引く
チャンネルボタンの下でいったん止まりますので、もう1度引いてください。

●リモコンボックスを使用して、紛失防止用に壁掛け収納できます。



照明器具を取り付ける　安全のため、電源を切ってから行ってください

◎必ず壁スイッチを設けてください。 上記「ご使用上に関するお知らせ」参照

1　天井についている配線器具を確認する

天井に右記のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。

→ **2** の作業へ進んでください。

右記以外の配線器具の場合、または、配線器具が設置されていない場合は取り付けできません。

◎ローゼットへの取り付けで取付金具（ハンガー）部に既設器具などのネジが付いてる場合は取り外してください。
◎販売店、工事店に配線器具の取り替え、取り付けをご依頼ください。
◎工事には資格が必要です。

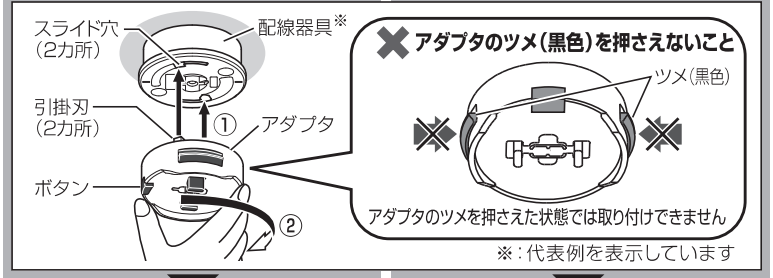
天井からの出しろが 22 mm の配線器具		天井からの出しろが 11 mm の配線器具
丸型フル引掛シーリング WG5005　WG5015	丸型引掛シーリング WG4000　WG4420 WG4425　WG1500	引掛埋込ローゼット WG6000　WG6420　WG6130
フル引掛ローゼット WG6005	角型引掛シーリング WG1000	引掛埋込ローゼット（ハンガーなし） WG6001WK

2　天井の配線器具にアダプタを取り付ける

①位置を合わせる
引掛刃（2カ所）を配線器具のスライド穴に入れる

②カチッと音がするまでアダプタを右に回して取り付ける

確認　ボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する

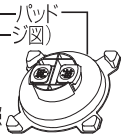


⚠ 警告

アダプタは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

3

アダプタに本体を押し上げて取り付ける



①本体中心にセンターパッドが取り付いていないか確認する
→取り付いている場合は、取り外す
2ページ「器具を底板から取り外す方法」参照

②アダプタに本体の穴を合わせて押し上げる

◎配線器具により本体の取付位置が異なります。
右記を参考に押し上げてください。
◎本体を水平にし、均等に押し上げてください。
◎器具裏面の黒スポンジは取り外さないでください。
本体の固定ができなくなり簡単に回転します。

確認

本体を押し上げてもアダプタに取り付かない場合は、アダプタが正しく取り付けられていません。
→取り付けできない場合は、
(1) **アダプタを外す**
下記「照明器具を取り外す」手順 3 参照
(2) **再度、手順 2 を行う**

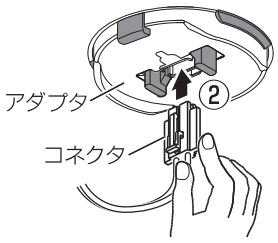
⚠ 警告

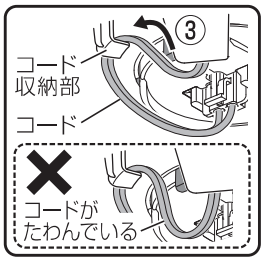
本体は確実に取り付ける
破損して感電のおそれがあります。

4

コネクタをアダプタに差し込む

① 本体がグラグラしていないか、簡単に回転しないか確認する
② コネクタをアダプタに確実に差し込む
③ コードがたわまないようにコードをコード収納部に引っ掛ける





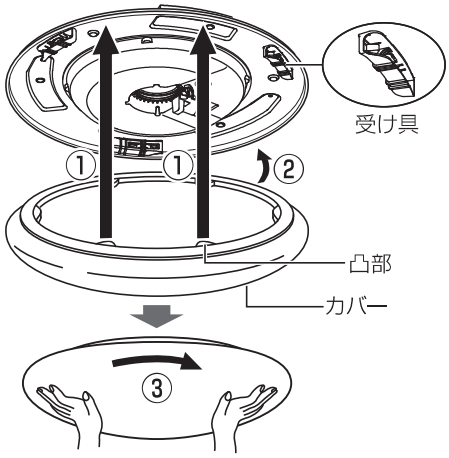
確認

●コネクタが差し込めない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→差し込めない場合は、上記手順 3 に戻る。
●引っ張って、コネクタが外れないことを確認する。
●本体がグラグラしている状態や簡単に回転する状態でコネクタを差し込んだ場合は、コネクタを外して(下記「照明器具を取り外す」手順 1 参照)本体を押し上げる(上記手順 3 参照)

5

カバーを取り付ける

① カバーの凸部2カ所を本体の受け具と受け具の間に合わせる
② カバーを持ち上げる
③ カバーを回転が止まるまで右に回す
(回転角度は、最大で約50度)
④ カバーが右に回転しないことを確認する



⚠ 警告

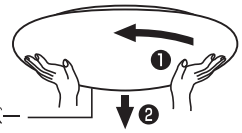
本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付ける
破損して感電のおそれがあります。

⚠ 注意

カバーは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

カバーの外しかた

❶カバーを左に約20度回す
❷カバーを外す



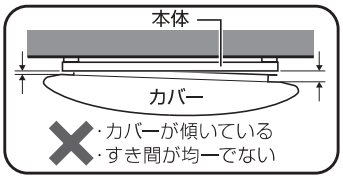
確認

カバーが1回転しても取り外せない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→取り外せない場合は、
本体を押さえながらカバーのみを左に回して外し本体を正しく取り付ける
左記 確認 手順(1)〜(3)参照

確認

●カバーが1回転しても取り付けできない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→取り付けできない場合は、
(1) コネクタを外す 下記「照明器具を取り外す」手順 1 参照
(2) 本体を押し上げる 上記 手順 3 参照
(3) コネクタを差し込む 上記 手順 4 参照
(4) 再度、手順 5 を行う

●カバーが傾いていないか、すき間が均一になっているか確認する。
→カバーが傾いたり、すき間が均一でない場合は、**カバーの凸部が受け具にはまっていない可能性があります。**
カバーを左に回して外し、再度、手順 5 を行う

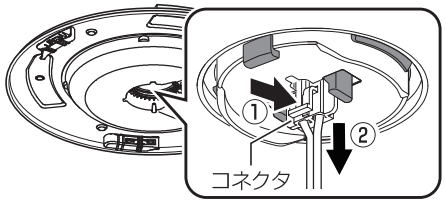


照明器具を取り外す

安全のため、電源を切ってから行ってください

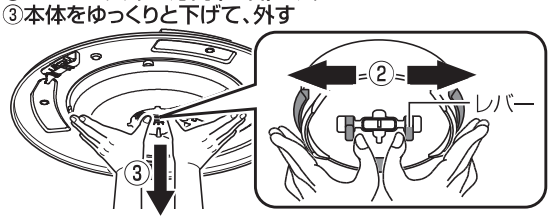
1

コネクタを外す
①つまみながら
②引いて、外す



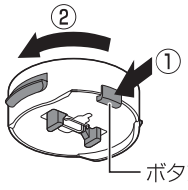
2

本体を外す
①本体が落ちないようにしっかりと支え
②レバーを矢印の方向(左右)に広げたまま
③本体をゆっくりと下げて、外す



3

アダプタを外す
①ボタンを押しながら
②左に回す

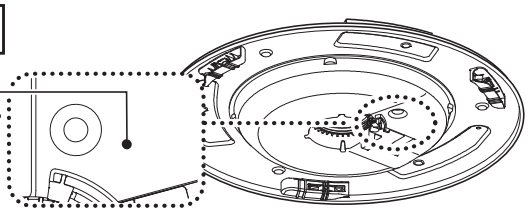


各部のはたらき

リモコン受信器（本体）

リモコン受信部

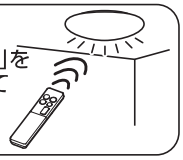
リモコンからの信号を受けます。傷つけたり、汚したりしないでください。



リモコン

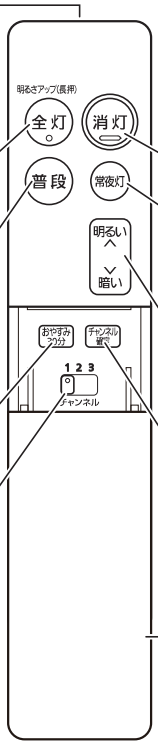
送信のしかた

必ず「リモコン送信部」を器具に向けて操作してください。



リモコン送信部

傷つけたり、汚したりしないでください。



全灯ボタン

LEDが昼光色約6200K※、明るさ100%で点灯
全灯ボタンを長押し(約2秒)すると昼光色、明るさ約120%で点灯 4ページ「あかりを切り替える」参照

普段ボタン

LEDが明暗ボタンで調節した明るさで点灯
(初期設定:昼光色約6200K※、明るさ約70%)
4ページ「あかりを切り替える」参照

おやすみタイマーボタン

6ページ「おやすみタイマーの使いかた」参照

チャンネルスイッチ

操作する器具のチャンネル (1～3) を設定
5ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

■リモコン操作時の音を消す方法

壁スイッチをONにして30秒以内に下記の操作を行ってください。

1

リモコンのフタをスライドさせて「リモコン送信部」を器具に向ける

2

リモコンの「普段ボタン」と「チャンネル確定ボタン」を同時に押す

メモ　リモコン操作時の音を鳴らす場合は、上記の操作をもう一度行ってください。

消灯ボタン

常夜灯ボタン（蓄光）

常夜灯が明暗ボタンで調節した明るさで点灯
(初期設定:明るさ100%)
◎太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。
5ページ「常夜灯を点灯する」参照

明暗ボタン

LED(100%～約5%)、常夜灯(6段階)の明るさを調節
4ページ「あかりを切り替える」参照
5ページ「常夜灯を点灯する」参照

チャンネル確定ボタン

チャンネル(1～3)の設定を確定
5ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

フタ

フタをスライドさせて、チャンネル切替を行います。

あかりをつける

あかりを切り替える

壁スイッチはONの状態にしてください

リモコンの「普段ボタン」、「全灯ボタン」、「全灯ボタン(長押し)」であかりの切り替えができます。
リモコンの「明暗ボタン」で明るさを調節できます。

普段　普段のあかり

「普段ボタン」を押すと、あらかじめ設定した明るさで点灯
(初期設定:昼光色約6200K※、明るさ約70%)

全灯　全灯(文字くっきり光)

「全灯ボタン」を押すと、昼光色約6200K※、明るさ100%(文字くっきり光)で点灯

【 文字くっきり光とは 】
文字が見やすい「色温度(約6200K)」と「明るさ」で、小さな文字もくっきり見えるあかりです。
読書や勉強などにおすすめです。

明るさアップ(長押)

全灯　明るさアップモード

「全灯ボタン」を長押し(約2秒)すると、昼光色、明るさ約120%(文字くっきり光)で点灯
(明るさアップモードは、調光操作ができません。)

■LEDを調光して記憶させる

LED点灯中に調光操作を行うと、その明るさを「普段ボタン」に記憶します。

1 普段
リモコンの「普段ボタン」を押してLEDを点灯させる

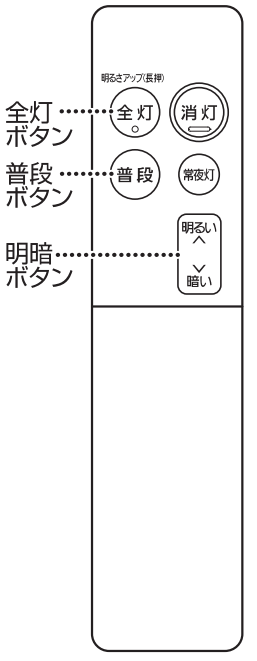
2 明るい 暗い
リモコンの「明暗ボタン」で明るさを調節する

➡ 記憶

メモ
- ●LEDの明るさを調節すると、その都度記憶します。
- ●「全灯ボタン」を押して明るさを調節した場合も「普段ボタン」に記憶します。

※:K(ケルビン)とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

リモコン



あかりをつける

常夜灯を点灯する

常夜灯点灯時に調光操作を行うと、その明るさを記憶します。

1 常夜灯

リモコンの「常夜灯ボタン」を押し、常夜灯を点灯させる

2 明るい ＜＞ 暗い

リモコンの「明暗ボタン」で常夜灯の明るさを調節する

➡記憶

メモ
- 6段階の明るさを調節できます。
- 再び左記の操作を行うまでは、記憶した明るさで点灯します。

壁スイッチで照明器具を操作する

■ 点灯・消灯する

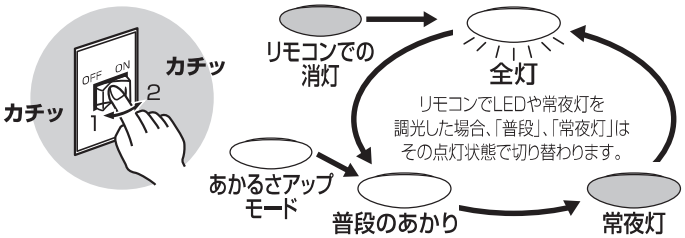
前回の「明るさ」で点灯します

現在（消す直前）の「明るさ」を記憶して消灯します

- 消灯状態で壁スイッチをOFFにすると、次にONしたときも消灯状態になります。

■ 点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く（約1秒以内）OFF→ONすると点灯状態が切り替わります。ただし、明るさアップモードには切り替えできません。



- 壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

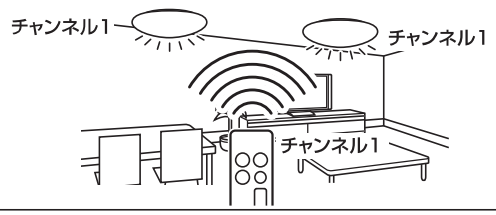
リモコンの便利な使いかた

複数のリモコン照明器具を操作する　照明器具のチャンネルを変更できます

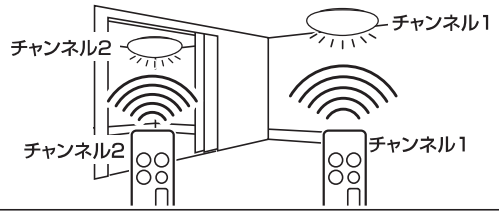
リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の器具が操作できます。また、リモコンで器具を操作できない時は、チャンネル設定が正しくない場合があります。

チャンネル設定でできること

- 複数の器具を同時に点灯できます。
  ◎器具間の距離やリモコン操作の方向により、同時に点灯しないことがあります。
  （例）一部屋に2台のリモコン照明器具がある場合



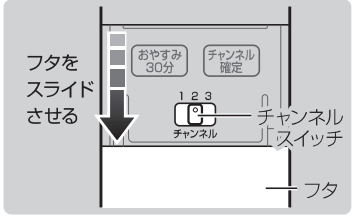
- 近くの器具を別々に点灯できます。
  （例）隣室にもリモコン照明器具がある場合



① 壁スイッチ ON

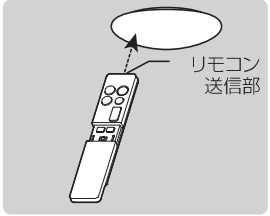
チャンネル設定を行う器具（1台）のみを壁スイッチONにする
（周囲のリモコン照明器具は、必ず壁スイッチOFFにする※1）

② フタをスライドさせる



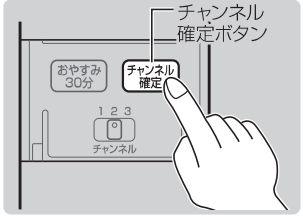
リモコンのフタをスライドさせて「チャンネルスイッチ」を希望のチャンネル（チャンネル1～3）に合わせる（例：チャンネル2）

③



リモコンの「リモコン送信部」を器具に向けて

④



リモコンの「チャンネル確定ボタン」を押す
→「ピピーッ」と音がして設定完了

メモ 本製品以外の照明を操作する場合は、チャンネル設定方法が異なります。ご使用の照明器具の取扱説明書をご覧ください。

※1：周囲のリモコン照明器具が壁スイッチONの場合、その器具もチャンネルが切り替わることがあります。

リモコンの便利な使いかた

おやすみタイマーの使いかた

おやすみタイマーをONにすると、30分後に自動消灯を行います。

■おやすみタイマーをOFF／ONにする

おやすみ 30分

リモコンのフタをスライドさせて
「リモコン送信部」を器具に向け、
リモコンの「おやすみタイマーボタン」を押す

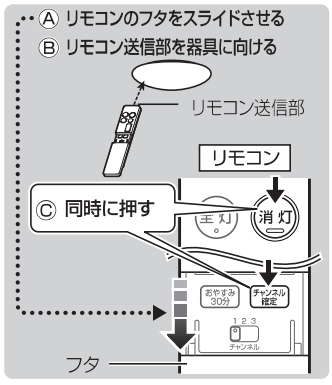
ON（30分後消灯）	→	OFF
「ピッ」と音がする		「ピーッ」と音がする

押すごとに切り替わります。

メモ

●リモコンでの消灯時でも、「おやすみタイマー」は、ONされます。（壁スイッチがOFFの場合は、「おやすみタイマー」はONされません。）
「おやすみタイマー」がONのままで点灯させた場合、「おやすみタイマー」をONにした30分後に消灯します。

故障かな？と思ったら　下表に従って点検してください

現　象	考えられる原因	処　置	参照ページ
本体が取り付かない	アダプタが正しく取り付いていない	①アダプタを外し ②再度、アダプタを取り付ける	3ページ 3 2ページ 2
点灯しない	コネクタが確実に差し込まれていない	①コネクタを一度外し、 ②本体を押し上げてから ③コネクタを再度、差し込む	3ページ 1 3ページ 3 3ページ 4
	壁スイッチがOFFになっている または、リモコンで消灯にして 壁スイッチをOFFにしていた	壁スイッチをONにする、または、 壁スイッチを素早く OFF→ONにする	5ページ 「壁スイッチで照明器具を操作する」
勝手に点灯する	非常に短い停電などにより壁スイッチ機能がはたらき、点灯状態が切り替わった可能性がある	壁スイッチをOFFにする	—
		リモコンもしくは壁スイッチ操作で点灯モードを切り替える	4～5ページ 「あかりをつける」
勝手に消灯する	「おやすみタイマー」がONになっていた	「おやすみタイマー」をOFFにする （「おやすみタイマー」で消灯すると「おやすみタイマー」はOFFされます）	6ページ 「おやすみタイマーの使いかた」
リモコンで操作できない	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる	2ページ 「各部のなまえと付属部品」
	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する	
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルを変更して操作する	5ページ 「複数のリモコン照明器具を操作する」
	他の機器（例えば、スマートフォン・タブレット、3Dテレビなど）からでる赤外線の影響により、リモコンが反応しにくくなっている	他の機器を照明器具から離す、照明器具に対する向きを変える、または電源を切る	—
調光操作ができない	「明るさアップモード」になっている	リモコンもしくは壁スイッチ操作で「普段」に切り替える（「明るさアップモード」は、調光操作ができません）	4～5ページ 「あかりをつける」
リモコン操作時にちらつく	調光動作をしている	調光（下限付近）動作時、ちらつく場合がありますが異常ではありません。 調光動作が終わるとちらつきも止まります。	
点灯状態が勝手に切り替わる	電子ブロックが異常動作状態になっている	壁スイッチをONにして30秒以内に下記のⒶ～Ⓒの操作を行ってください。 Ⓐリモコンの「フタ」をスライドさせる Ⓑ「リモコン送信部」を器具に向ける Ⓒリモコンの「チャンネル確定ボタン」と「消灯ボタン」を同時に押す（「ピッ」と音がして、常夜灯が点灯します。） ●この操作を行うと、器具の初期設定に戻りますので、下欄の「上記の処置を行っても現象が続く場合」の②を行ってください。 また、記憶させていた普段のあかり、常夜灯の点灯状態も初期設定に戻りますので、設定をしなおしてください。	
「ピピッ ピピッ ピピッ」と音がした後に、「消灯」する	電子ブロックが故障している	電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口にご相談ください	

上記の処置を行っても現象が続く場合	①電源をいったん切り、約20秒以上経ってから再び電源を入れる ②器具のチャンネルを変更する　☞ 5ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口にご相談ください。

パナソニックお客様ご相談窓口のご案内

お手入れ・お取り扱い・修理・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へお申し付けください。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、以下の窓口にご相談ください。

使い方・お手入れなどのご相談

【受付時間】月～土９時～18時
（祝日・三が日を除く）

照明器具・ランプ商品ご相談窓口

携帯OK
個人のお客様 **0120-878-051**
法人のお客様 **0120-187-441**
※携帯電話からもご利用になれます。

●上記番号がご利用いただけない場合は
個人のお客様 **06-6780-2550**
法人のお客様 **06-6904-4573**

FAX… **0120-872-460**

https://sumai.panasonic.jp/support/

Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03)3256-5444 **Osaka**(06)6645-8787
Open:9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によって、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
※上記のURLはお使いの携帯電話などにより、正しく表示されない場合があります。

修理に関するご相談

【受付時間】月～土９時～19時
（日・祝・年末年始９時～18時）

修理ご相談窓口

携帯OK
フリーダイヤル パナニイコー
0120-872-150
※携帯電話からもご利用になれます。

■ 左記電話番号がご利用いただけない場合
06-6906-1090

https://sumai.panasonic.jp/support/repair/
※インターネットでのご依頼も可能です。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   （イ）無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
   （ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には修理ご相談窓口にご連絡ください。
   （ハ）この商品は出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、修理ご相談窓口にご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
   （イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   （ロ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
   （ニ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
   ただし、車載を目的とした機器を除く
   （ホ）一般家庭用以外（例えば、業務用など）に使用された場合や指定外の動作環境で使用された場合の故障及び損傷
   （ヘ）本書のご提示がない場合
   （ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   （チ）離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. 修理ご相談窓口は取扱説明書をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
※修理に際し、本体交換による修理となる場合や再生部品、代替部品を使用する場合がございます。交換した本体、再生部品は回収させていただきます。
※This warranty is valid only in Japan.

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

●〈照明器具〉安全チェックシート●

※チェック欄が足りない場合はコピーしてお使いください。

	安全点検項目	点検結果(該当には○) / / / / /	処置手順
このような症状はありませんか	1. スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。		○印があるときは危険な状態になっていますので使用を中止し故障や事故の防止の為お取り替えをおすすめします。
	2. プラグ、コードや本体を動かすと点滅する。		
	3. プラグやコードなどが異常に熱い。		
	4. こげくさい臭いがする。		
	5. 点灯させたときに漏電ブレーカが動作することがある。		
	6. コード、ソケット、配線器具に傷みやひび割れ、変形がある。		
	1. 購入後、10年以上経過している。		○印があるときはお買い上げ店にご相談ください。
	2. カバーなどに変色・変形がある。		
	3. 塗装面にふくれ、ひび割れがある。または錆が出ている。		
	4. 器具取付部に変形・ガタツキ・ゆるみなどがある。		

上記点検項目以外でも不具合があれば、販売店等の専門家にご相談ください。

お手入れについて　安全のため、電源を切ってから行ってください

●明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。
●汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
●リモコンのリモコン送信部は定期的にお手入れを行ってください。ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。
●電池は半年を目安に取り替えてください。
◎付属の乾電池は、最初に使用するために用意しているもので、半年に満たないうちに消耗する場合があります。

リモコン送信部

確認　シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

仕様　カバーのラベルをご参照していただき、品番にチェックをしてください。

品番	適用畳数	使用電圧	周波数	消費電力		入力電流
□ LGC4113DK	～10畳	AC 100 V	50/60 Hz共用	44.6W　明るさアップ時（全灯時：36.6W）	リモコンOFF時（待機時状態）　1W以下	0.46A　明るさアップ時（全灯時：0.38A）
□ LGC5113DK	～12畳			49.6W　明るさアップ時（全灯時：40.6W）	常夜灯のみ　約1W	0.51A　明るさアップ時（全灯時：0.42A）

●LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります。）光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

Panasonic　出張修理

照明器具保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本票裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

※品番 お買い上げの製品品番□にチェックしてください。	□ LGC4113DK □ LGC5113DK
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間 （ただし、LED電源・LEDユニット5年間）
※お買い上げ日	年　月　日
※お客様	ご住所 お名前　様 電　話　（　）　—
※販売店	住所・販売店名 電話　（　）　—

見本

パナソニック株式会社　ライティング事業部
〒571-8686　大阪府門真市門真1048　TEL(06)6908-1131(代表)

ご販売店様へ　※印欄は必ず記入してお渡しください。

（キリトリ線）

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは…
■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。
▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電　話　（　）　—
お買い上げ日　年　月　日

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、LED電源・LEDユニットについては5年間です。
※保証の例外　24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間　6年

＊当社はこの照明器具の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。
※補修用性能部品はLED電源、リモコン等の電気部品です。

修理を依頼されるとき

まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

●製品名	住宅用照明器具
●品番	上記「仕様」をご参照ください。
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証の規定に従って出張修理いたします。
●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。
＊修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

パナソニック株式会社　ライティング事業部
〒571-8686　大阪府門真市門真1048
© Panasonic Corporation 2023

LGC4113DK - T3A　N0423 - 00